

第29号

1994年2月1日発行
 社会福祉法人 友愛会
 大島保育所
 大島福祉学園
 友愛園
 南川福祉学園
 題字 理事長 角野元保

海清

秋の思い出から



実りの秋！ 清稔(南川福祉学園)

いもほり

大きな・大きなおいも

みんなでほった。

がんばってほった。

顔がいもと…

同じ色になっていた。

浜田和美

(南川福祉学園)



新春のごあいさつ

友愛会理事長
大島福祉学園長

角野 元保



明けましておめでとうございます。

平成6年の新春を迎え、関係各位のますますのご健勝とご繁栄を心よりお慶び申し上げます。

昨年は友愛会、各施設の運営にみなさま方の多大なご協力ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、大飯町内に特別養護老人ホーム（デイ・サービス、ショートステイを含む）の設置について、大飯町ご当局はじめ、関係市町村、また、各種団体、篤志家のみなさま方より特段のご協力ご支援をいただき、平成6年5月開苑を目指し、着々と建設を進めてい

るところであります。迫り来る高齢化社会に備え、高齢者保健福祉推進10ヶ年戦略の推進が積極的に図られている中、社会福祉施設の果たす役割は非常に大きなものがあり、今まで以上に地域との関わりを密にし、地域ニーズに対応する施設経営に努めてまいります。

また、当法人の既存施設につきましても、現状を踏まえ、将来への構想を練り、その実現に向かって、役職員が全力をあげて取り組んでまいりたいと存じますので、本年も変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。末筆ではありますが、関係各位みなさま方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

大島保育所長

角野 章香

10年ひと昔とありますが、今の世は目まぐるしく変わっています。保育界も今年は大変革の年となるでしょう。子育ても同じことが言えます。

「今と昔とでは随分環境が変わったね」という言葉をよく耳にします。母なる大地から学ぶことが多い自然の恵み、人間も自然の一部であるのを忘れてしまったかのように、遊び方を知らない子が多くなってきました。幼児期は、できるだけ「自然の中での子育てを」と願っています。

指示待ちの多い子ども達。そのようにしてしまった大人の責任でもあります。これからの子どもは、自主的、自発的に物事を考え、行動できるようになって欲しいと願っています。

友愛園長

古田 宗雄

アジア・太平洋障害者の10年が始まり、障害者の自立について、完全参加と平等ということで広く知られるようになりました。ある人は、リハビリによる身の自立であり、また、クラブ活動による生き甲斐の発見、施設にあってボランティアの支えにより社会生活への関わりを持つ考え方、更に進んで施設を出て独立することにより本来の自立が達成できると考える人、いくつかの自立についての考え方が出て参りました。

施設としては本人の意志を尊重しつつ障害や生活・家庭・疾病を考え、それぞれの自立に向けた介護を展開して参りたいと存じます。

今年も旧に倍した皆様のご指導、ご援助をお願い申し上げます。

南川福祉学園

今井 真人

昨年も当園にとって充実した一年を過ごせましたことを感謝致しております。さて、今日では障害をもつ人々の福祉は大きな前進を見せてきていますが、その推進は障害者を持った人の人権を尊重しながら地域社会を基礎にした施策の充実であり、今後、こうした施策の充実が一層強く期待されています。

ハンディキャップを持った人は健康者と同じ権利や機会を享受できなければならないという目的の実現に向けての施策の一環であり、当園といたしましても微力ではありますが住み良い地域社会作りの実現への一助として貢献出来るよう努力して参りたいと考えております。

あの人、この人に、 スポットライト

マイペースな

杉本 明さん
友愛園

今回は、小浜市甲ヶ崎出身の杉本明さんです。



いつもマイペースな杉本さんは、職員の「まだ早いよ」と言葉にもかかわらず、30分も40分も前からお風呂の前のろうかですべて待っていることもしばしば。また、誰もいない訓練室でいつももくもくと平行棒で歩行訓練を頑張っています。そして、天気の良い日には必ず玄関先でニコニコしながら、ひなたぼっこをしています。

そんなマイペースな反面、食事の時、食物をよくかまずにのみこみ、のどにつかえさせてしまうというようなせつかな一面も持ち合わせています。

そんな杉本さん、これからも自分のペースを崩さず、楽しい時を過ごして下さいね。

指先の器用な

塚本 昇さん
南川福祉学園

中学校を卒業して、現在作業班で頑張っている17才の塚本昇です。角チリ折みやゴミ袋



作りも指先が器用だとほめられています。いろんな作業にもチャレンジしたいと思っています。歌はウインクの曲が好きです。曲を聴きながら体力作りもしています。大好物はラーメンに焼きそば、この頃少し体型が気になりだしてきたのでもっと体力作りに入れたいと思っています。

そんな僕に週末の土・日は両親の送り迎えで家に帰り家族と過ごす楽しみがあります。食事をしたいろいろな所へ出かけたり、また、僕の希望の所へも連れていってくれたりもします。今度はどこへ連れていってもらえるのかなあ。なんて今から楽しみにしています。

ふきとり名人

谷口 孝子さん
大島福祉学園

水上文学に出てくる“ふきとり名人たかちゃん”こと谷口孝子さんは学園に入所して4



年目となりますが、覚える気がないのか、人の名前をほとんど呼びません。しかし、人を動物などにたとえるのがとてもうまいです。「あのネコちゃん、こわいわ」

洗面所が人でいっぱいの時、「汽車が満員や」などと、みんなを笑わせてくれます。

山村に住んでいたのが、動物が好きなのでしょうか？さる、くま、ゴリラなどぬいぐるみをたくさん持っています。1匹でもいなくなると、「おらん、おらん」とあちこち探しまわるぐらい大切にしています。また、童謡が大好きで、よく一緒に口ずさんでくれます。♪ポッポッポ、ハトポッポ

やさしい

塩野 昌美 ちゃん

元気な

中谷 将貴 くん

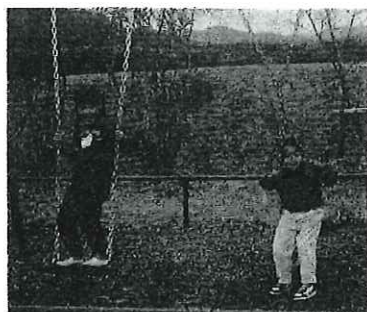
大島保育所

明るくやさしい女の子は「塩野昌美ちゃん」お手伝いが大好きでよく園庭のはきそうじや窓拭きなどしてくれます。また、小さな子ども達の面倒もよく見てくれ、頼りになるお姉さんです。何事に

も意欲的に粘り強く取り組む子であり、一生懸命練習して泳げるようになったり、集中力のいる針通しも出来るようになりました。

サッカーが大好きな元気な男の子は「中谷将貴くん」シュートもカッコ良く決まり、チームのみんなを引っ張って行ってくれます。いろんなことに一生懸命挑戦する頑張り屋さんで、難しい逆上がりも努力の甲斐あって出来るように

なりました。側転も上手なんですよ。年下の子達からも好かれるやさしいお兄さんです。



健康で豊かな 食生活を考える

— 調理の工夫、雰囲気づくりの工夫 —

今回は、各施設の栄養士に献立や調理法などで心がけていること、また、利用者と一緒に食事を摂る立場の保母や指導員に食事に対する思いを語ってもらいました。

残さず楽しく

大島保育所調理師

小西 友子

私達の食生活は経済的な豊かさと共に以前に比べて、よりすぐれた食品が、季節を問わず誰もがいつでもどこでも手にすることができます。何を口にしても喜び、感動する子ども達が少なくなっている時代に少しでも家庭的な食事を、栄養のバランスはもちろんのこと食品に合った器や形、分量、季節に適した温度など注意を払いながら一人でもたくさん子ども達が残さず楽しく食べてくれるように努力しています。

保育所へ入って始めて給食を口にする子ども達にも家庭で食べ慣れているメニューにしたり、食べにくい食品などは食べ易く細かく切り、年齢に応じた盛り付け、色彩などに気を配りながら毎日の食事に取り組んでいます。

健康と嗜好を考えて

友愛園栄養士

伊藤 裕子

友愛園で施設栄養士の仕事をさせていただいて11年、最初は刻み食・粥食だけでしたが、平均年齢が増すごとに、ミキサー食+とろみ食+栄養補給、脂肪制限食、透析食、最近では脾臓炎食と多くの病人食の献立と調理にあたっております。調理には、嗜好性・操作・調理性を理解し、実践しております。健康には、成人病予防の米食中心の良質蛋白質、食物繊維、緑黄色野菜類を多く取り入れ、入居者の嗜好を考慮した食事と、毎日の水分補給に健康茶を取り入れております。

入居者の食事習慣の尊重についても、年3回、入居者を交えて、給食委員会で話し合い、少しずつではありますが、改善し適温食、ゆとりある食事を家庭的に近づけていきたいと思っております。

かむことのメリット

南川福祉学園栄養士

谷口 泰子

子ども達が喜んで食べてくれる献立を工夫し、色彩豊かな盛り付けを考え、誰が調理しても同じ味つけになるよう気をつけています。

一日の食事をトータルして、食品や栄養のバランスを考慮し、たのしく食事してもらえるように心掛けております。

食生活の変化によって、よくかまなくても食べられるものが、増えているため、かむことのメリットを考え、緑黄色野菜、根菜・乾物、豆類などを多く献立に取り入れるよう努力しています。

子どもの年齢が増すにともない、献立の内容も少しずつ大人の味に、近づけて行きたいと思っております。

しかし、低学年の子どもが食べやすいよう盛り付けなどにも工夫をしています。

成人病予防の配慮

大島福祉学園栄養士

藤田 幸

健康管理が充分にできない利用者の健康を考えると、そのウェートの半分以上は、食事で占められ

ます。特に、当園全体の高齢化が避けがなくなった今日、成人病予防の配慮が求められています。

その一つとして、動物性よりも植物性の蛋白質を多く摂取してもらいたいと、大豆製品をいろいろと工夫した料理を試みています。代表的なものとして、豆乳寒、豆腐入りのハンバーグやグラタンな

どがあげられます。

このような配慮に基づいた料理でも、決して薬の代用という感覚にならないような盛り付け、ソース味と醤油味が一緒にならないように、また、適温の面でも充分な配慮を心掛けていきたいです。

手づくりの食卓

大島福祉学園生活指導員
立井 清隆

今日ほど、食に関する情報が氾濫している時代もない、と思える世相です。そんな中で私たちは、

利用者の食と健康について考えていかなければなりません。

近頃では、一般家庭でも失われつつある、温かい思いやりや感謝の心が育つような手づくりの食卓が、私たちの目指すものです。目に見える部分では、必要に応じた減塩食、消化の良い食事、カロリー制限といった配慮もなされてい

ます。目に見えない部分、つまり心の領域にまだまだ開拓の余地があると考えられます。

温かい食卓が温かい心を育てるという、食べ物と心の深い関わりを念頭に置いた、きめ細やかな心遣いが、今後ますます必要かと思われれます。

「おなかすいた」

大島保育所保母
松宮 奈保子

「先生、おなかすいた」という元気な声が返ってくるはずの食事の時間。しかし、現在の子どもの姿は、食べ物が豊富にあるためか、食べ物に偏りがあり、柔らかいものしか食べない、噛めない子が多いのが目立ちます。そして、「おなかすいた」という言葉を聞くことが少なくなりました。

そこで散歩に行き、青空の下みんなでわいわい言いながら食べたり、なるべく体を動かし「おなかへる」という感覚を味あわせるため戸外で遊ぶことを今まで以上に多くとり入れて見ました。

とにかく体をつくるのに大切な時期です。嫌いなものを一口でも食べたらうんとほめてあげ、おかあさんにも連絡し、自信につながるようにと考えています。

楽しい会話で

南川福祉学園保母
泉本 西実

人間にとって大切な「食」。食事は楽しく食べるということが一番大切ではないかと思えます。そのために学園では、食事中に子ども達の好きな曲をかけて、食事をしています。と言ってもそれだけでは楽しい食事を摂れるとは思いません。学園では食事指導もなっていますが、そんな中でも今日の楽しかったことなど、いろいろな話しをしたりして家庭的な雰囲気を感じています。

何でもバランスよく食べれるように、その子にとって嫌いな食べ物が出た時は、小皿に小分けをして好きな食べ物と交互に出したり、励ましたりしながら職員も一緒に食事をしています。子ども達にとって楽しく食事が出来るようにこれからも頑張ります。

自分で摂れるように

友愛園指導員
見越 一弘

日常生活の中で『食べること』は楽しみの1つであることが多いので、園の生活でも食事時間は重要な役割をはたしています。

また、友愛園では食事においても介護を要する人も多いのですが、できるだけ自分で食事がとれるよう自助具などの使用で工夫しています。個人に応じた適切な援助が行えるよう気付いたことがあればケース会議などを行い、改善に努めています。

そして、入居者を交えた給食会議を年3回実施することにより、入居者のニーズを把握し、ニーズ対応への参考にしています。

これからも入居者の希望をできるだけ取り入れ、食事時間が有意義なものになるよう考えていきたいと思えます。

報告します！

友愛会文化祭

11月22日～24日の3日間、第11回友愛会文化祭を大飯町総合町民

センター展示場をお借りして、開催いたしました。友愛会の4つの施設が一堂に集い、各施設ごとに持ち味を生かした作品展示・即売、パネル展と日頃の成果を披露しました。即売されたバスマットや野菜・陶芸品などは、好評で多くの

人に購入していただきました。

24日は、同会場大ホールにて、大島福祉学園のほのぼののこんさあとも、大飯音頭保存会のみなさんをはじめ、たくさんのボランティアのみなさんのご協力を得て、盛大におえることができました。

あき 食欲、運動……

こんなことしました。

キリンさんからのメッセージ



ヤキイモ

寒い一日、今日はみんなでヤキイモをして食べました。

親子遠足

(関ヶ原メナードランド)

一日楽しくすごせ、親子のスキンシップも満足でした。



くるまいす少し前進!

三方観世音御開帳
33年に1度の御開帳。
観音講クラブでお参りに行きました。



一泊旅行(長島温泉)

11月1、2日楽しい旅でした。



ピクニック

若狭総合公園

国道162号線沿いにあり、小浜市西津地区に昨年春、開園されたのが「若狭総合公園」です。まだ、すべてが完成されていませんが、小高い山を切り開いてつくられており、とても見晴らしがいい所です。

まず目にとびこんでくるのがす

べり台。「ジャックと豆の木」の木の高い所からすべりおりてくるローラーのすべり台です。他の遊具も動物や野菜などの形でとってもメルヘンチックにできていて、池もあり稚鯉がたくさん放流されています。1・2才の小さな子どもたちも十分楽しめます。

また、大人も体を思う存分動かせるようアスレチック的なものもあり、休日の昼さがりには、親子づれが目立ちます。

散歩道もつくられていて親子で散策を楽しめます。

休日は、家族づれでお弁当をもってでかけてみては…。子どもたちとゆっくり自然の中でふれあってみるのもいいのではないのでしょうか。

海とぼくらと

神社清掃
落ち葉でいっぱいの神社を
一日かけて掃除しました。

武生の菊人形
(秋季遠足)
赤、黄、白の色とり
どりの菊の服が着せ
てあり、きれいでした。



びわのみ

かき
おいしそうなかき。スルスルっと
木に登りひとついただき。

おもちつき
上手につけるかな？みんなの掛け
声にあわせて ペタンコ。



ふれあいメッセージ

往診

公立小浜病院看護婦
谷口敏子さん

往診は、宮本哲男医師と共に年
2回の定期検診を施行しております。
初めて大島福祉学園に行った
のは、昭和59年の春でした。海や
山に囲まれ、自然に恵まれた心の
落ち着くところだと感じました。

初回日、どのようにコミュニケ
ーションをとればいいのか、緊張
と不安がありました。けれど、職
員、園生さんがやさしく、温かい
心で受容して下さり、回を重ねる
度に園生さんとの信頼関係ができ
ました。そのかわりの中で印象

深かった事をいくつか紹介します。

注射が大嫌いで、職員の力をか
りでの採血でしたが、今では自ら
腕を出し、「なあ、注射、注射」と、
誰の助けもかりず出来るにな
ったA君。にっこり笑い、「お姉
ちゃんお久しぶり、元気」と握手を
してくれるBさん。言葉では伝え
られなくて、肩をポンとたたいて
挨拶をしてくれるC君。また、足
げりをして体で自分の気持ちを伝
えてくれるD君。ニックネームで
呼ぶと、喜びの声を発して返事
してくれるEさん。帰院時、窓か
ら元気よく「バイバイ」と手を
振ってくれるFさん。

このように園生さんたちが、い
ろいろな形で感情表現をして下さ
り、今回20回目の往診になり、私

たちに少しずつ心を開いて下さっ
たことを嬉しく思います。短い診
察時間ですが、一人ひとりの心の
ふれあいを大切にのんびりとした
雰囲気、ドクターと共に楽しい
往診を継続していきたいと思っ
ております。



友愛のかけはし

(9月～12月)

◆友愛会

友愛会文化祭

たくさんの方々のご協力をいただき、ありがとうございました。

歳末慰問

各施設の利用者に対し、関係各市町村、共同募金会などより、暖かい浄財をいただき、ありがとうございました。

◆大島福祉学園

奉仕・交流

美浜町民生委員・高浜3Gコンサート実行委員・舞鶴北吸養護学校保護者・高浜モラロジー・大飯町赤十字奉仕団・大飯町商工会婦人部・高浜町ボランティアの会・上中モラロジー・つばさの会・楽団わかさ・大飯音頭保存会・岡崎弘明(正視堂)・立正佼成会青年部・関西電力ポート部・垣東妙子・藤田香緒里・水船則恵

寄付

衣類…上山正恵
りんご…山下薬局

Tシャツ

…トリススポーツ

布団…江口(高浜町)

ケーキ…西谷正治

カセットテープ

…日本民生文化協会

タオル・石けん

…今立町婦人福祉協議会

◆友愛園

奉仕・交流

猿橋統流子・原真英・中名田冠句会・買物ボランティア・田茂谷老人クラブ・名田庄村婦人福祉協議会・小浜水産高校PTA・関西電力ポート部・中名田婦人会・若狭東高校JRC・田中昭彦(若狭マジック倶楽部)・敦賀トライアスロンクラブ

寄付

りんご…山下薬局
バナナ…芝食料品店

◆南川福祉学園

奉仕・交流

関西電力ポート部・関西電力大飯支部青年部

寄付

りんご…山下薬局
衣類…坂本・納田終地区母親クラブ

ハギレ…ギャレックス若狭・アシックス工業・京浜工業

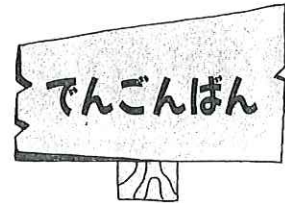
テレビ…関電労組大飯支部青年部

ケーキ…西谷正治

C D…日本民生文化協会

(敬称は略させていただきます。)

ありがとうございました。



♥退職

次の方が退職されました。ごろうさまでした。

谷川友昭(友愛園)…11月1日付
(敬称略)

編集後記

希望にあふれる新年を迎え、利用者みなさんとともに、より一歩社会に踏み出す年となるよう張りきっています。

「海清」第29号をお届けします。

一人ひとりが違った環境に生まれ育ち、年齢、障害、性格など異なった人の集まりであり、そういふなか施設は第2の家庭でもあります。新年を施設で迎えられた利用者の方にも、限られた施設の中で工夫(大変むずかしい言葉ですが)をし、おだやかな日々を送っていただいております。

施設の果たす役割や職員問題などいろんな問題が山積みのみなか、旧年に変わらぬご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(谷口)

コレクトルーム



”基本的な生活習慣”

食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱など、生活中的基本的欲求充足の仕方に関わる習慣をいいます。幼児期に心身の成長発達段階

に応じた“しつけ”によってこれらの習慣の自立が達成されることが標準です。

心身障害児については、とくにこの点の配慮が大事です。施設では日常生活指導を通し、基本的な生活習慣のうえにさらに対人関係や地域社会生活に必要なより広い基本的な生活技術の習得を目指しています。